



平成30年4月27日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 孝
(コード番号 7022 東証第1部)
問合せ先責任者 代表取締役専務執行役員 北川 治
(TEL 06-4803-6161)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成30年3月30日に公表しました平成30年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、併せて特別損失の計上につきましてお知らせします。

記

1. 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	△ 3,300	△ 3,200	△ 3,200	△ 98.23
今回修正予想(B)	47,400	△ 3,200	△ 3,100	△ 4,300	△ 131.99
増減額(B-A)	400	100	100	△ 1,100	
増減率(%)	0.9%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	53,064	904	863	△ 2,446	△ 75.11

修正の理由

売上高は、陸上事業での増収等により前回予想を400百万円上回る見込みです。損益面では、造船事業でプラント事業が前回予想を上回った他、陸上事業では化粧品製造用機械装置が、レジャー事業では国内遊園地運営事業が上振れた結果、営業利益、経常利益ともに赤字幅が縮小する見込みです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、別記の特別損失を計上した結果、前回予想より1,100百万円赤字幅が拡大する見込みです。

2. 特別損失の計上

豪州観覧車事業の今後の収益性を評価し直し、固定資産の減損損失1,147百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、連結業績には影響しませんが、個別決算において上記豪州観覧車事業の減損に伴い、子会社株式評価損1,029百万円を特別損失に計上する見込みです。

3. 財務制限条項への抵触に対する対応結果について

業績予想の修正に伴い、当社の全額出資子会社であるサノヤス造船株式会社が取引金融機関と締結しているシンジケートローン契約に規定する財務制限条項のうち、純資産の維持に関する条項に抵触する見込みとなりましたが、参加金融機関に対し期限の利益喪失に関わる条項を適用することなく契約を継続するよう要請を行ないました結果、契約が継続されることが確定しております。

なお、配当は期末配当として年5円を予定しており、変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上